

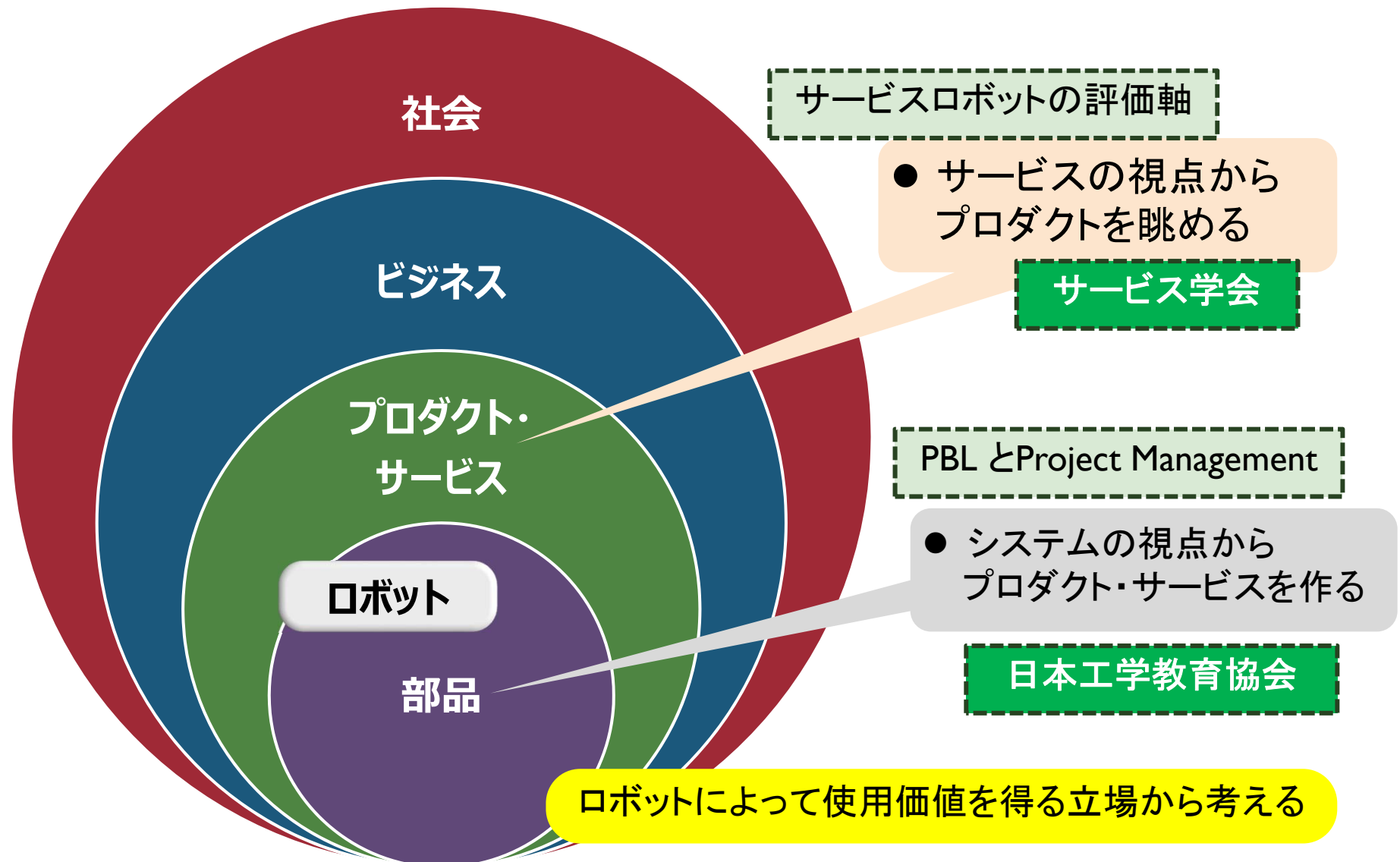
ロボット技術者育成の課題と解決法を探る

主催：日本学術会議 機械工学委員会 ロボット学分科会
共催：日本ロボット学会、日本ロボット工業会
東京電機大学 千住キャンパス

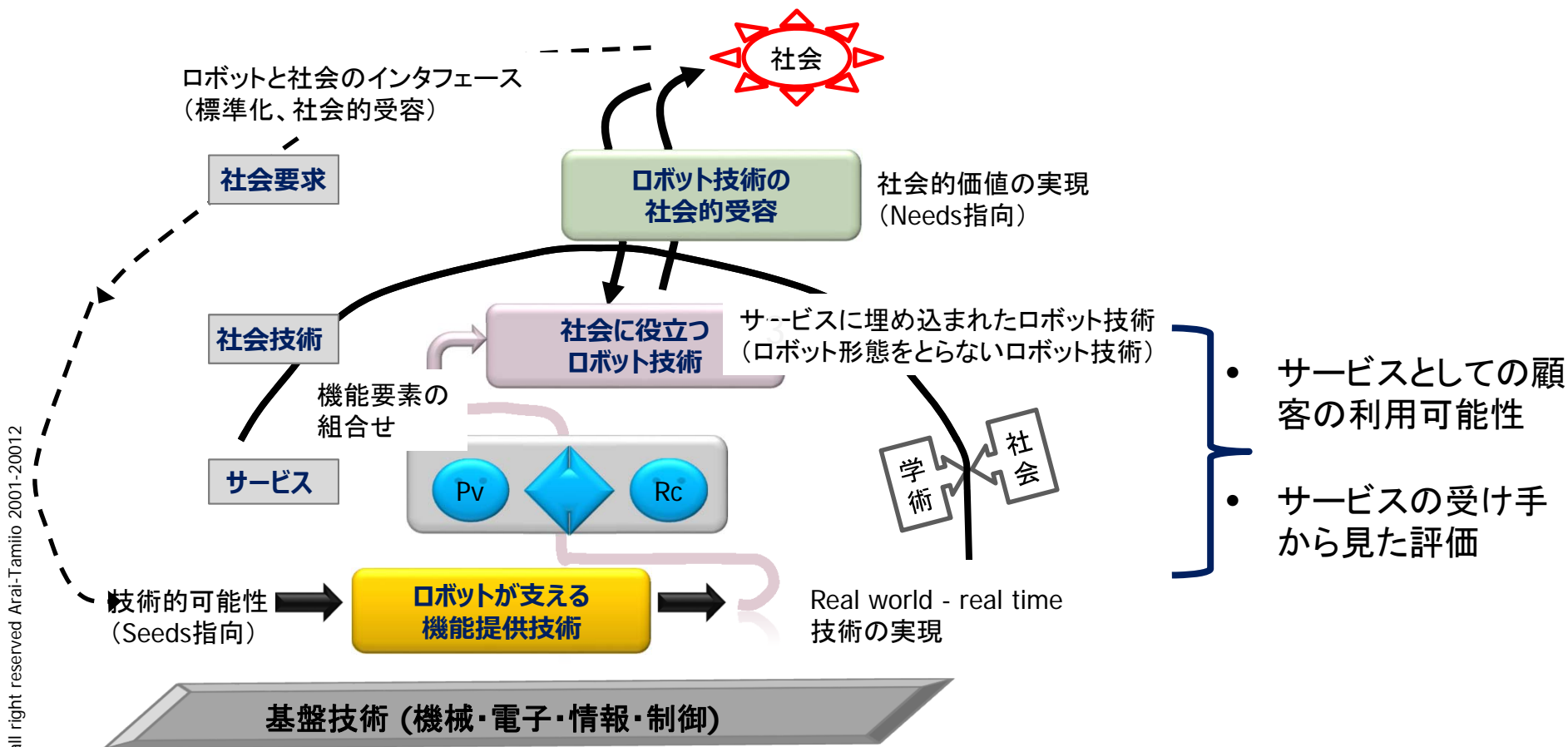
芝浦工業大学 教授・東京大学名誉教授
サービス学会会長

新井 民夫
Prof. Dr. Tamio ARAI
arai-t@shibaura-it.ac.jp

社会技ロボティクス (Cyber Physical System)

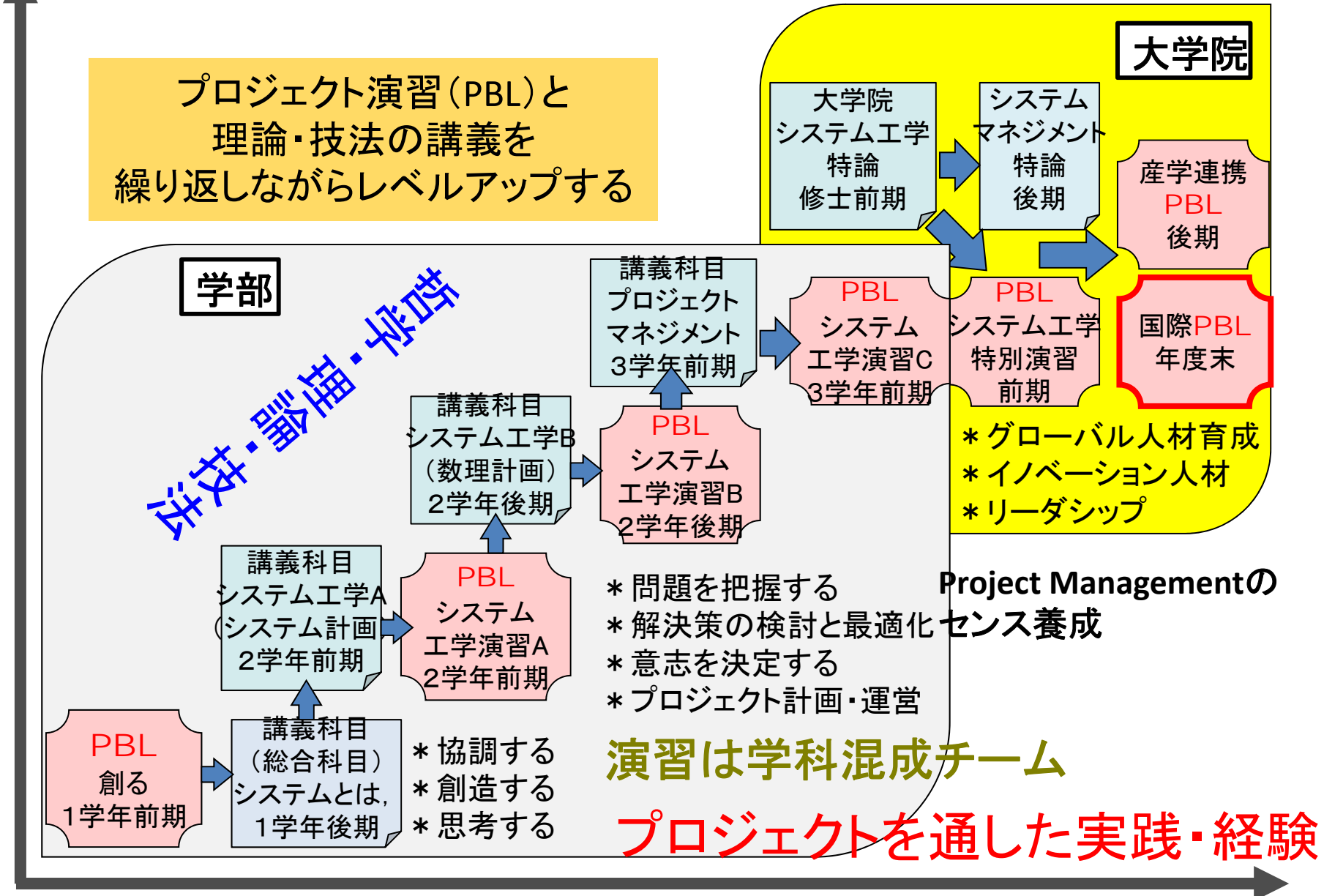


社会技術としてのロボット研究 (JST-CRDSでの報告2013)



ビジネス競争力は、全体のTurn-around 時間

芝浦工業大学におけるPBLの体系的実施



技術パラダイムの変化

■ 製造業の大衆化・アマチュア化

- ▶ 生産手段：3Dプリンタ、ロボット
- ▶ 仕様設計：ビッグデータ、IoT
- ▶ 利用手段：Open System

■ 知識の非対称性の緩和

- ▶ 個人としての「KnowledgeとSkill」をグループとして所有
- ▶ 使用価値高度化のために、サービスプロバイダが積極的提供
- ▶ MOOCs(Massive Open Online Courses)

■ 設計製造システムの短期化・多様化

- ▶ Mass Customization, Mass-personalization
- ▶ 「プロダクトを介するサービス」提供業
- ▶ ニーズ・仕様の浮遊化